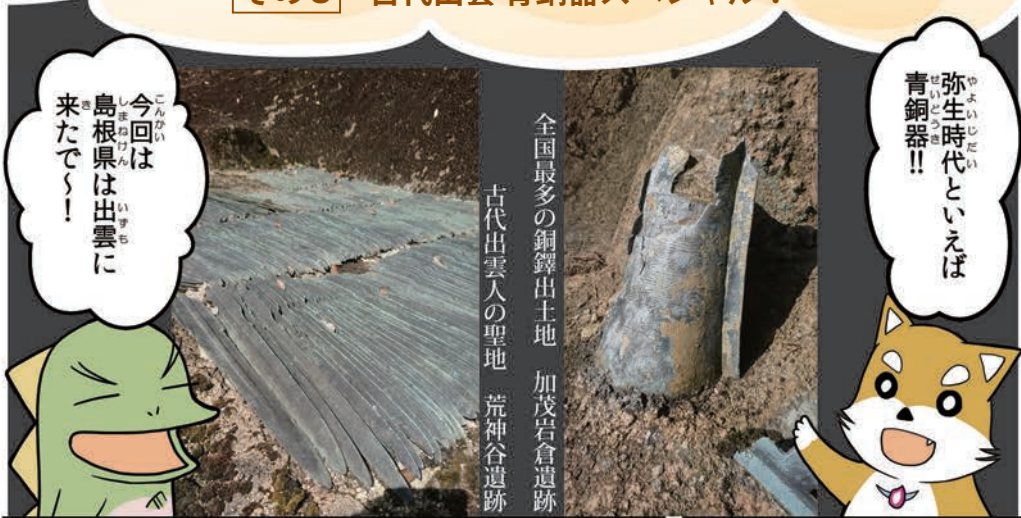


遺跡へ行こう

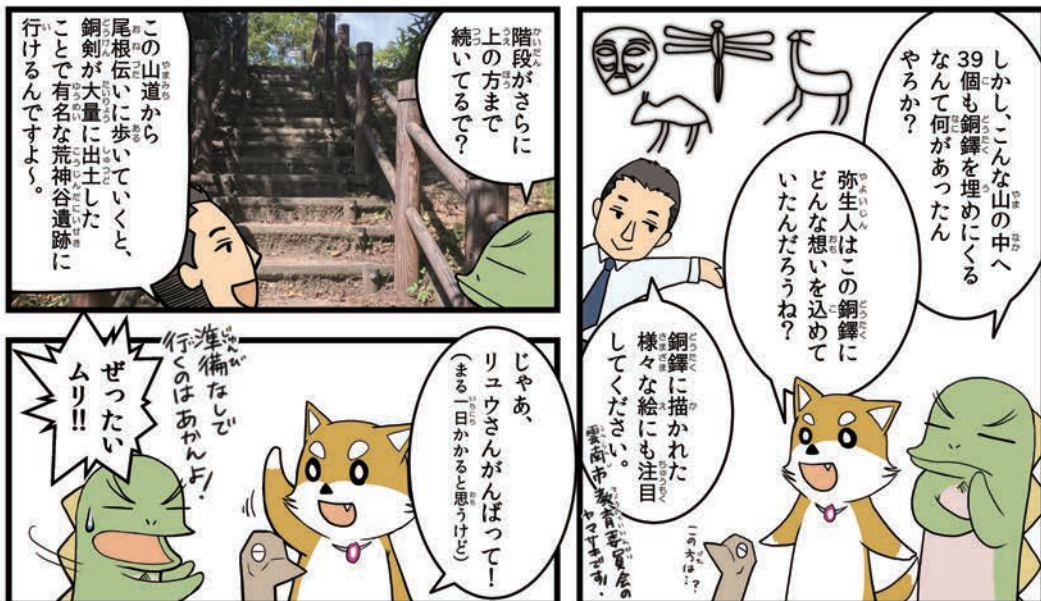
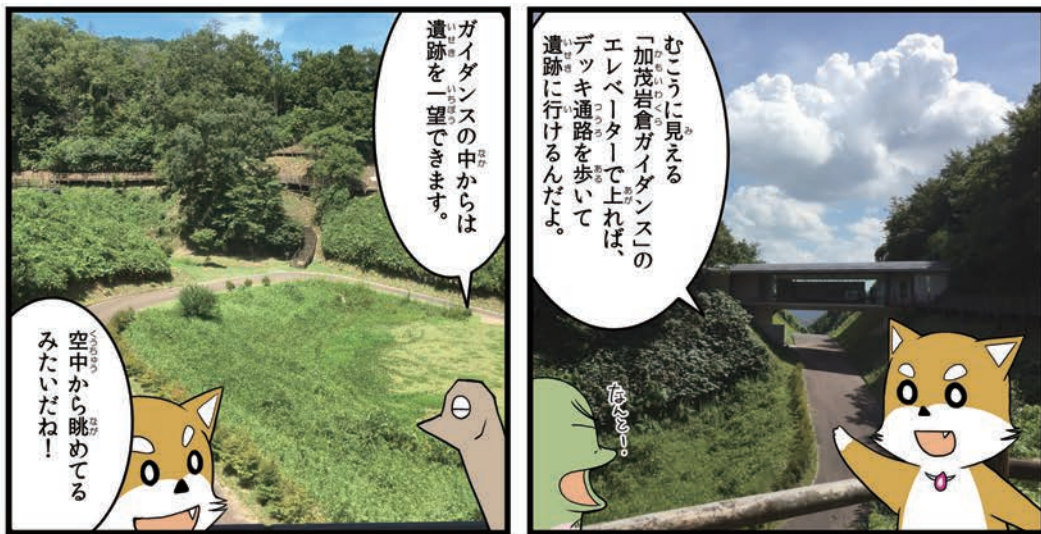
その8 古代出雲 青銅器スペシャル！



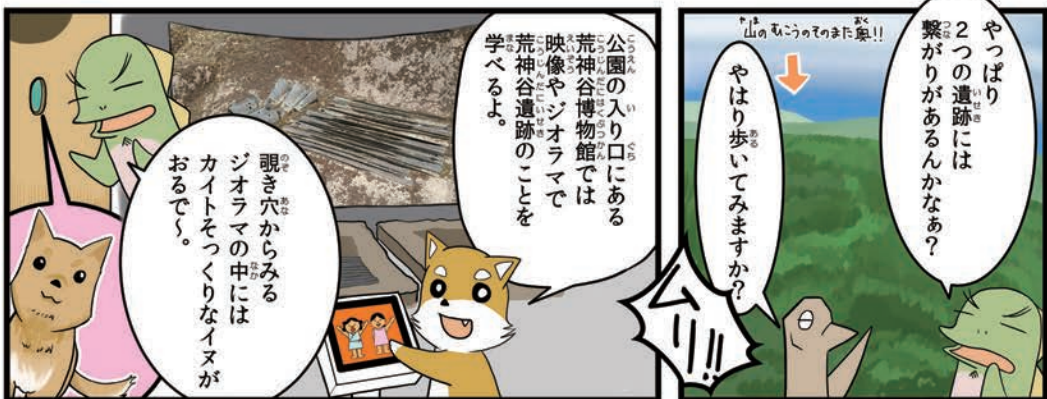
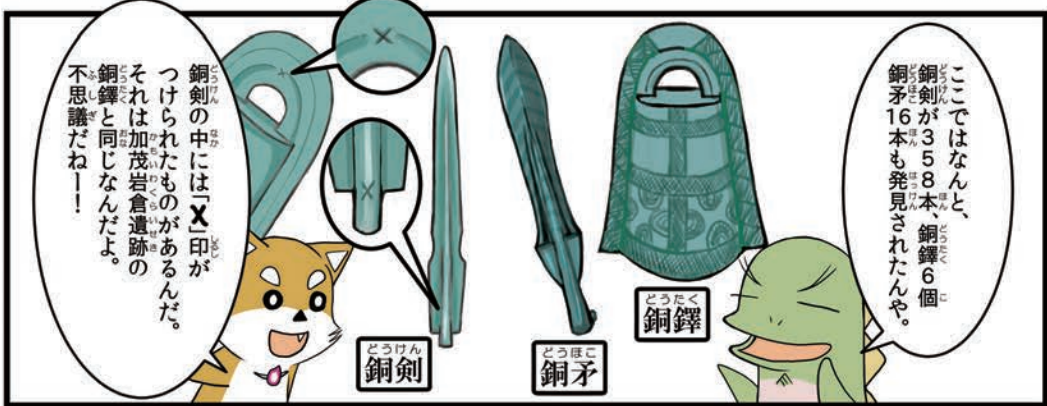
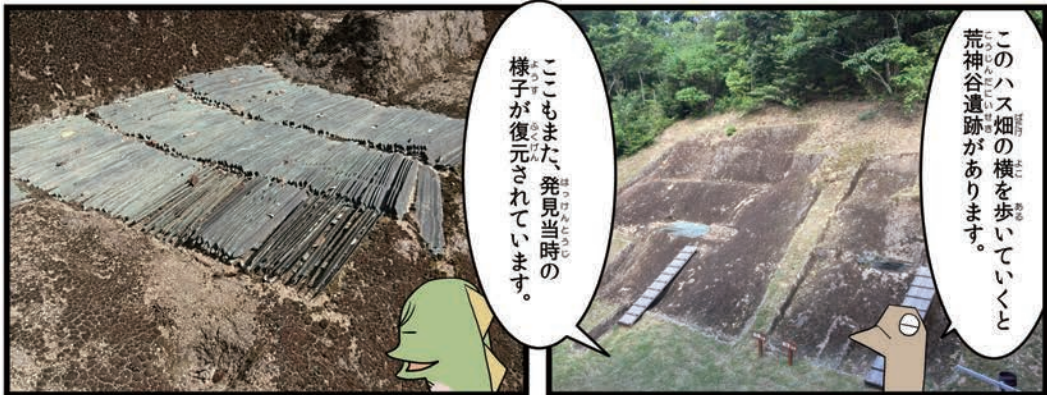
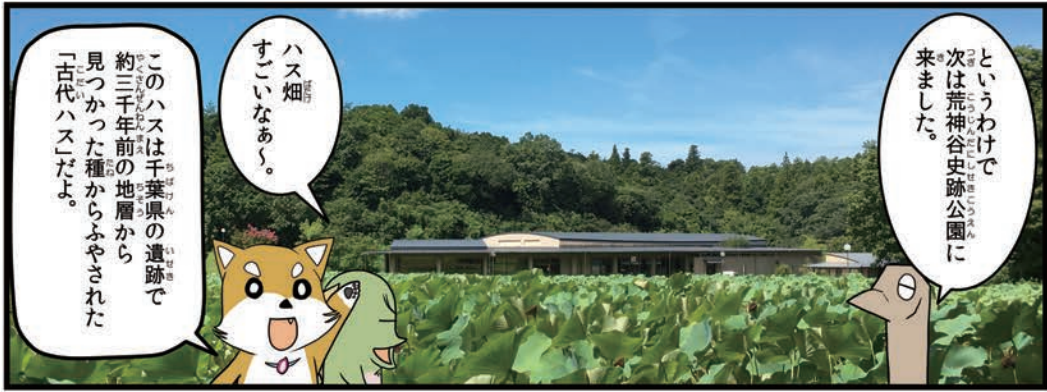
カイトとリュウさんは、大阪府立弥生文化博物館の展示品から飛び出した、博物館のキャラクター「館キャラ」です。本冊子では「弥生遺跡」や各地の「博物館」を訪ねて日本中を駆けめぐります。二匹の活躍にご期待ください！



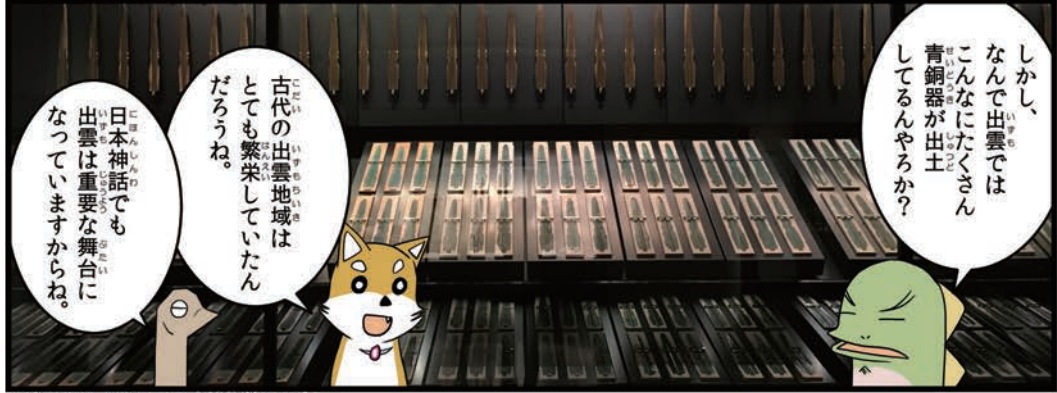
カイトとリュウさんの 遺跡へ行こう



日本列島は、いまでもこそ「日本」というひとつの国にまとまっていますが、弥生時代にはたくさんのクニがそれぞれの地域で独特な文化を築いていました。



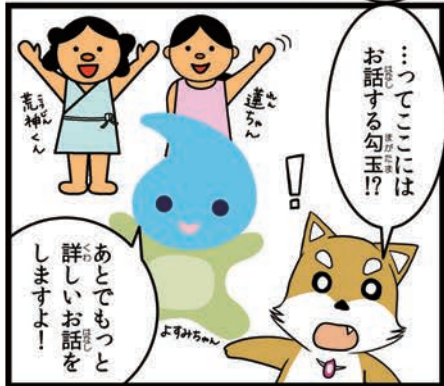
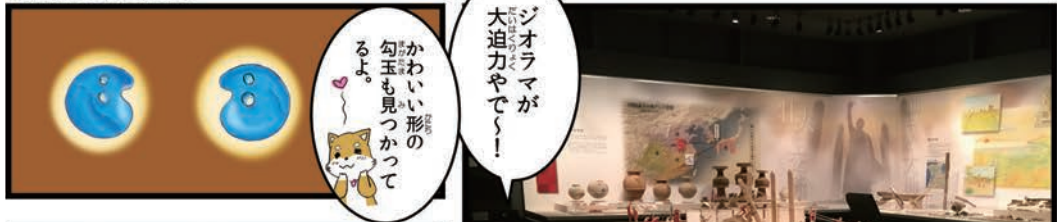
本冊子で紹介する遺跡を訪れば、出土した遺構や遺物はもちろん、遺跡の周りの自然や地形環境、気候のほか、遺跡の立地など、自分たちの地域とは異なる部分に気が付くはず。



※島根県立古代出雲歴史博物館展示室



※西谷墳墓群史跡公園



島国ならではの多様な風土が生み出した、特色豊かな弥生文化。それはいまの日本文化の源流となるものです。ときには悠久の時を超え、遙か先人たちの叡智に想いを馳せてみませんか。



銅鐸埋納状況

銅鐸を埋めるために掘られた穴のことで埋納坑といえます。埋納坑の中の銅鐸は、互い

に裾の部分を向かい合わせにして、鱧の部分を立てるようにして埋められています。調査によって、加茂岩倉遺跡の埋納坑は一メートル×二メートルほどの長方形だったと推定されています。だいたい置一枚ぐらいの大きさですね。埋納坑の中に残っていた土を観察すると、粘土質の土と砂の混じった土が交互に重なって堆積していました。自然に流れ込んだものでもなく、あとから掘り返したような様子も見られなかったので、銅鐸を納めたあと、意識的に埋めたものと考えられています。

銅鐸の埋納坑のすぐ近くには、実はもうひとつ同じような穴が見つかっていました。注目したいのはこの穴の中に埋まった土が、銅鐸を埋納した穴と同じように粘質の土と砂じりの土で交互に重なり合っていたことです。こちらの穴の中には銅鐸はもちろん、何も入っていませんでしたが、この二つの穴にどんな関係があったのか、とつても気になります。

大小の銅鐸と「入れ子」

銅鐸が発見された時には、ほとんどの銅鐸が重機によって掘り上げられていました。注目したいのはこの穴の中に埋まった土が、銅鐸を埋納した穴と同じように粘質の土と砂じりの土で交互に重なり合っていたことです。こちらの穴の中には銅鐸はもちろん、何も入っていませんでしたが、この二つの穴にどんな関係があったのか、とつても気になります。

加茂岩倉遺跡で見つけた銅鐸は、約四五センチほどの大きさのものが二〇個、約三〇センチほどの小さなものが一〇個の合計三〇個です。一般的に小さなものが古く、大きなものは新しいと言

われていますが、大小それぞれの大きさがほぼ揃っていますね。こうしてみると、大きい銅鐸の内側に小さな銅鐸を差し込んで「入れ子」にして「埋める」ために、それぞれ大ききの揃った銅鐸を集めたように感じませんか。

加茂岩倉遺跡の発見と埋納坑

一九九六（平成八）年一〇月一四日、農道を作る工事中に数多くの銅鐸が見つかりました。これが加茂岩倉遺跡発見のきっかけです。その後の発掘調査で銅鐸の総数は三九個となり、ひとつの遺跡から出土した数としては全国最多となりました。



ここからは私
ヤマサキが
ご案内します

入れ子にして銅鐸を埋める例としては、滋賀県野洲市大岩山銅鐸や京都市梅ヶ畑銅鐸など、昔からいくつかわかっています。しかし、これらは発掘調査で明らかになったものではなく、後に発見者からの聞き取りによって今に伝えられているものです。これに対して、加茂岩倉遺跡の銅鐸は入れ子の状態で銅鐸を埋めていたことを発掘調査で確認した初めての例となりました。



入れ子の銅鐸

したが、辛うじて二組の銅鐸が埋められたままの状態で見つかっています。ここで「二組」と言ったのは、この銅鐸の中に小さな銅鐸を納めた「入れ子」の状態

で「二組」と言ったのは、この銅鐸の中に小さな銅鐸を納めた「入れ子」の状態

特徴的な絵画銅鐸と同范銅鐸



加茂岩倉遺跡で見つかった銅鐸

加茂岩倉銅鐸で注目されるのは、特色のある絵画が描かれた銅鐸の存在です。加茂岩倉銅鐸には計七個の絵画銅鐸がありますが、中でも一八号銅鐸と三五号銅鐸のトンボの絵は、まるで見たままをそのまま描いたようで、今にも銅鐸から飛び出して行きそうです。また、鈕と呼ばれる



29号銅鐸 シャーマン?

この鑄型は度々造ります。青銅を流し込んで溶かしたた隙間に鑄造の間にでき



18号銅鐸 トンボ

れる釣り手の部分にカメ(ウミガメ)を描いた一〇号銅鐸、同じく鈕にシャーマンの顔ではないかと言われる人面を描いた二九号銅鐸など、ほかに特徴的な絵画をもつものがあり、これらから工人の細かな観察力と表現力が感じられます。

加茂岩倉銅鐸で、さらに特徴的なのは、同じ鑄型で造られた「同范銅鐸」がとても多いことです。銅鐸は、文様を彫り込んだ二つの外型に内型を差し込み、両方の鑄型の間にでき

か繰り返し使われ、ほぼ同じ大きさ、同じ文様の銅鐸がいくつか造られました。このように同じ鑄型で造られた銅鐸を「同范銅鐸」と言います。近年、南あわじ市で出土した松帆銅鐸の中にも、加茂岩倉銅鐸と同じ鑄型で造られた銅鐸があることがわかりました。これによって、

加茂岩倉銅鐸には現在までに一六組二七個に及ぶ同范関係が明らかになっていますが、これからも新たな発見によって加茂岩倉銅鐸と同じ鑄型で造られた銅鐸が見つかることも十分に考えられます。加茂岩倉銅鐸を巡る謎解きの旅は、まだまだ終わりそうにありません。

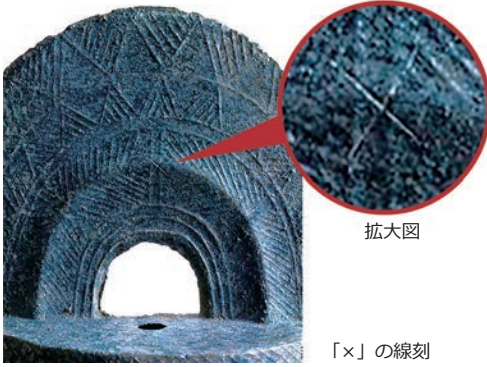


加茂岩倉遺跡と荒神谷遺跡のつながり

さて、加茂岩倉遺跡から直線距離にして約三・四キロのところ、大量の青銅器が出土した荒神谷遺跡があります。加茂岩倉遺跡と荒神谷遺跡については、これまで様々な視点から多くの議論がされてきました。例えば、加茂岩倉銅鐸で

は、鈕の部分に「×」を刻んだものが一四個確認されていますが、同じ様に荒神谷遺跡から出土した三五八本の銅剣のうち三四四本に「×」の刻線があり、ほかに例のないこのような事実について、二つの遺跡の特別な関係性が問われました。そして、最近、先に紹介した南あわじ市の松帆銅鐸と荒神谷遺跡の銅鐸にも同じ鑄型で造られたものがあるということがわかりました。

松帆銅鐸には、加茂岩倉遺跡と荒神谷遺跡の両方と関わる銅鐸があることになっています。松帆銅鐸を介してさらに繋が



拡大図

「×」の線刻

加茂岩倉遺跡ガイド



住所：〒699-1115 島根県雲南市加茂町岩倉837-24
電話：0854-49-7885
開館時間：9時～17時
入館料：無料
休館日：火曜日（祝祭日の場合は開館）
年末年始
HP：<http://user.kkm.ne.jp/dotaku39/home.htm>

ホームページ



交通アクセス：
(鉄道) JR加茂中駅から約4km
(自動車) HPをご覧ください

た加茂岩倉遺跡と荒神谷遺跡。この二つの遺跡の深い結びつきは、ますます深くなるばかりです。

にあつて、穴道湖の南西にあたる谷の奥にあるよ。



こうじんくん れんちゃん

これから
は私達が
荒神谷遺跡や
西谷墳墓群に
ついて説明し
ます。
荒神谷遺跡は
出雲市斐川町



出雲平野と荒神谷遺跡

おどろくべき数の銅剣を発見

こうじんくん：一九八三（昭和五八）年、広域農道を作る予定地の調査で土器が発見され、つぎの年一九八四（昭和五九）年、銅剣の一部が姿を現したんだよ。そのあと一か月半かけて、必要な調査や銅



青銅器出土状況を復元した荒神谷遺跡

剣の取り
上げ作業
が終わり
て、最終的
に確認さ
れた銅剣
は三五八
本!! その
頃、全国
で発見さ
れていた

銅剣の総数約三〇〇本を、ここだけでこえたのだから、ものすごい数だね。

れんちゃん：銅剣一本でも発見されればそれだけでその遺跡には強い勢力があったとされるのに、三五八本は驚きの数よね！

こ：銅剣は本数が多く上に、水にひたしたヒスケットのようにもろくなつていて、取り出す時は大変だったんだって。



銅剣取り出しの様子

さらに発見！銅鐔と銅矛

こ：さらにつぎの年、地下探査機を使って周辺を調べたら、銅剣が発見された



銅剣発見の翌年 周辺を地下探査機で調査

場所の真横、七メートルの地点から、銅鐔と銅矛が一緒に発見されたんだ！
この銅鐔、銅矛も水分を含み、な

かなか金属探知機に反応が無く、それで探すのに苦労をしたよ。それでもしっかりと崩れることなく発掘できたのはすごい事だよ。

れ：あと、銅鐔は近畿勢力のもの、銅矛は九州勢力のものと考えられているので、その二つが、同じ場所から発見されるのもとてもめずらしいことね。

こ：そのあとも、この荒神谷遺跡の発見に続いて、弥生時代の重要な遺跡が次々と発見されたから、出雲が日本中の考古学関係者や古代史愛好家から今まで以上

一気に注目をあびたよ。

なかでも、西谷墳墓群では、全国でも最大級の四隅突出型墳丘墓が発見されていたんだよ。

こ：西谷墳墓群については、出雲弥生の森博物館のマスコットキャラクターのよすみちゃんが説明するよ。

西谷墳墓群の「よすみ」



よすみちゃん

よすみちゃん

西谷墳墓群は、荒神谷遺跡から西に直線距離で約六、五キロ離れた出雲市大津町の小高い丘にあるんだ。この場所は弥生時代の終わりごろ（約一八〇〇年前）から奈良時代ごろまで、たくさんのお墓がつけられたため、めずらしい遺跡だよ。ここでは、四隅突出型墳丘墓（「よすみ」という、変わった形の弥生時代のお墓が六基発見されているよ。長方形の隅がとび出していて、上から見ると「こたつ」みたいな形をしているんだ。お墓のまわりは、たくさんのお石でおおわれていて、遠くからでも目立ってたんだ。

※ 「銅剣取り出しの様子」と「銅剣発見の翌年 周辺を地下探査機で調査」の写真提供は島根県教育委員会。

遺跡へ行こう

カイトとリュウさんの



西谷3号墓から見つかった
大量の土器とガラス勾玉
(島根大学考古学研究室蔵)

西谷墳墓群は、一九五三(昭和二八)年に地元の中学生が土器を拾ったことをきっかけに見つかったんだよ。
「よすみ」は、全国で約一〇〇基見つかったいるんだけど、ここには大きな「よすみ」が集まっているんだ。
初代出雲王のお墓「西谷三号墓」
よ・巨大な「よすみ」のひとつ、西谷三号墓は初代の「出雲王」のお墓と考えられているよ。その大きさは、全長約六メートル、高さが約四メートルあるんだ。ここからは、ガラスの勾玉や鉄の剣、三百個を超える土器が見つかっていて、その中には、遠くはなれた吉備(岡山県)や北陸(福井県・石川県)系の土器も含まれていたんだ。「出雲」はこれらの地域と交流があったんだね。



古代ハスと荒神谷博物館

関係する本
やオリジナルグッズが
豊富にあるよ。
れ・遺跡の
周りは史跡公園になっ
ていて、夏

ちなみに、わたしの頭はガラス勾玉、体は「よすみ」がモチーフなんだよ。
古代出雲への想い
こ・なぜ三九個もの銅鐸が。なぜ三五八本もの銅剣が。四隅突出型墳丘墓の出現は何を意味するのか…大量の青銅器の出土と出雲の王墓の発見により、古代出雲のなごは深まって、いつそう古代史の魅力を引き出し出しているね。
みんなも現地へ行つて、古代出雲へ想いをはせてみようよ。



出雲弥生の森博物館と史跡公園の「よすみ」

になると五〇〇〇株の古代ハス、春には六〇〇種類の椿など四季折々の植物観察も楽しめるよ。
出雲弥生の森博物館
よ・ここでは、「よすみ」から発見された大量の土器や貴重なガラスの勾玉や腕輪を中心に展示しているよ。西谷三号墓のお墓の様子がわかる一〇分のジオラマは必見!また、博物館隣の史跡公園では「よすみ」を見学することができるんだ。
ぜひ、出雲弥生の森に遊びに来て「よすみ」を体感してね。
発掘体験や勾玉づくりもできるよ。

文化庁
平成二九年度文化庁
地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
「カイトとリュウさんの遺跡へ行こうその8」
加茂岩倉遺跡・荒神谷遺跡・西谷墳墓群
企画・編集…つらなる・つながる歴史ミュージアム実行委員会
大阪府立弥生文化博物館
マンガ…宮野三ケ
テキスト…加茂岩倉遺跡 山崎 修
テキスト…荒神谷遺跡・西谷墳墓群 前田みのり
発行日…平成二九年一〇月二六日
印刷所…株式会社島弘文堂印刷所

荒神谷博物館
Archaeological Museum of Kojindani
Facebook ホームページ

住所: 〒 699-0503
島根県出雲市斐川町神庭
873-8
電話: 0853-72-9044
開館時間: 9時~17時
(入館は16時30分まで)
入館料: 無料(展示室は有料)
休館日: 火曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
HP: <http://www.kojindani.jp>
交通アクセス:
(鉄道) JR 莊原駅から自動車で約5分
(自動車) 山陰自動車道斐川ICから約3分

出雲弥生の森博物館
IZUMO YAYOINOMORI MUSEUM
ホームページ

住所: 〒 693-0011
島根県出雲市大津町 2760
電話: 0853-25-1841
開館時間: 9時~17時
(入館は16時30分まで)
入館料: 無料
休館日: 火曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
HP: <http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>
交通アクセス:
(鉄道) JR 出雲市駅から自動車で約10分
(自動車) 山陰自動車道斐川ICから約10分